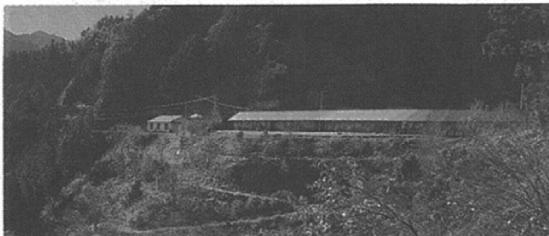


点検の不動産利活用

一般財団法人 日本不動産研究所

第33回



山林に囲まれたゴミステーション



ステーションはリユースの拠点

葉っぱビジネスは知られて
いるだろうか。この葉っぱビ
ジネスは「いろどり」と言わ
れる日本料理に添える季節の
葉っぱや花、山菜などを栽
培、出荷、販売等を行うビジ
ネスで、高齢者や女性により
支えられている徳島県上勝町
の主力産業だ。18(平成30)
年7月に発行された「上勝町
SDGs未来都市計画」によ
ると、約200件の農家が
葉っぱビジネスを営んでお
り、年間売り上げは約2億6
000万円になるそうだ。

今回は上勝町が実施してい

960年代頃からミカン栽培
に取り組んだものの、198
1年の大寒波で町内のミカン
の木が全滅。新たな産業の創
出に向けた取り組みを模索す
る中で、上記「いろどり」ビ
ジネスを農家4件、売り上げ

100万円からスタートした

上勝町は、町の約90%が山
林で囲まれていることから、
1950年代までは林業が盛
んな地域だった。最盛期には
6000人以上が暮らしてい
たが、外国産木材の輸入によ
る影響を受け、林業は急激に
衰退。その打開策として、1

勝町は、03年に「ゼロ・ウェ
イスト」宣言を行い、全国に
先駆けてごみの再利用・再資
源化を目標とするSDGs活
動に町全体で取り組んでい
る。「ゼロ・ウェイスト」と
は、無駄や浪費をゼロにする
ことを言い、20年までに焼
却・埋め立て処分をなくすこ
とを目標として、リサイクル
できる物の分別を徹底してき
た。

取り組みは徹底的に
行われていて、町内にはごみ収集車がない
ため、町民が各自でごみをゴ
ミステーションに持ち込むよ

うになっている。収集された
ごみは13品目45分別されてお
り、ごみを持ち込む際には、
ペットボトル、紙パック、缶

等が設置（町内の普及率は約98
%）されており、ごみの発生
が最小限になるよう工夫され
ている。「ゼロ・ウェイスト」

宣言の理念に基づき、ごみを
出さない、資源を浪費しな
い、環境汚染や環境破壊を引
き起こさない意識を町民全員
で共有することにより、リサ
イクル率約80・7%（環境省

による一般廃棄物処理実態調
査の18年度調査結果。同調査
での徳島県全体では約16・6
%）が達成できており、町民
1人当たりのごみ排出量は全
国平均の約半分という結果に
結び付けている。

人口減少が進み、高齢化率
が50%を超える山間地域であ
る上勝町の取り組みは、個人
個人がごみに対する意識を共
有し、日々実践することで循
環型社会実現に向けた活動と
して注目されている。

（徳島支所、不動産鑑定士・
石森慎吾）

リサイクル率80%超を達成

高齢化率50%超の町が取り組むSDGs 徳島県上勝町



イスト」宣言を行い、全国に
先駆けてごみの再利用・再資
源化を目標とするSDGs活
動に町全体で取り組んでい
る。「ゼロ・ウェイスト」と
は、無駄や浪費をゼロにする
ことを言い、20年までに焼
却・埋め立て処分をなくすこ
とを目標として、リサイクル
できる物の分別を徹底してき
た。

取り組みは徹底的に
行われていて、町内にはごみ収集車がない
ため、町民が各自でごみをゴ
ミステーションに持ち込むよ

うになっている。収集された
ごみは13品目45分別されてお
り、ごみを持ち込む際には、
ペットボトル、紙パック、缶

等が設置（町内の普及率は約98
%）されており、ごみの発生
が最小限になるよう工夫され
ている。「ゼロ・ウェイスト」

宣言の理念に基づき、ごみを
出さない、資源を浪費しな
い、環境汚染や環境破壊を引
き起こさない意識を町民全員
で共有することにより、リサ
イクル率約80・7%（環境省

による一般廃棄物処理実態調
査の18年度調査結果。同調査
での徳島県全体では約16・6
%）が達成できており、町民
1人当たりのごみ排出量は全
国平均の約半分という結果に
結び付けている。

人口減少が進み、高齢化率
が50%を超える山間地域であ
る上勝町の取り組みは、個人
個人がごみに対する意識を共
有し、日々実践することで循
環型社会実現に向けた活動と
して注目されている。